

校長室便り (No4) 熱い(暑い)夏到来!

新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、本来2020年夏の開催予定であった「東京2020オリンピック」が1年延期されて開幕した。無観客開催の中、史上最多33競技、339種目に、205の国・地域・難民選手団の約1万1000人が“United by Emotion (感動で私たちは人になる)”の下、連日熱き戦いを繰り広げています。テレビを通してですが、それぞれの競技で、日本選手や各国選手が直向きに頑張る姿には大きな感動があります。と同時に、競技を支える多くの人たちへの感謝の念に堪えません。人は「感動」でしか変わらないと言います。今回のオリンピックの感動の裏には、選手たちの「元気・やる気・勇気・本気・根気」の全てが高いレベルで昇華されています。夢の実現に向けてこれから立ち向かう生徒たちには、是非、選手たちの強い絆で結ばれた友情や先輩・後輩の在り方、そしてスポーツマンとしての気概を大いに参考にして欲しいと思っています。

話は変わりますが、本校の7月の活動についていくつか紹介したいと思います。《全日制》7月8日(木)に3年生のクラスマッチを行いました。熱中症を心配したのですが、幸いなことに気温もさほど上がらず、生徒たちは思う存分にプレーを楽しむことができ、満足したようでした。コロナ禍の中、学校行事も思うようにできませんが、今できること、今だからこそやるべきことをしっかりと考えて実施していきたいと思っています。



第103回全国高校野球選手権熊本大会が7月10日に開会しました。本校は、松橋高校、八代農業高校との3校連合チームで出場し、7月15日(木)県営八代野球場で必由館高校と対戦しました。試合結果は0-18の5回コールド負けでしたが、真っ向勝負を貫いた結果であり、終了後の選手たちの顔は清々しいものでした。現在本校の野球部員は各学年1人ずつの3人ですが、部員たちは月、火、木、金、土の週5日、練習を休むことなく、工夫しながら活動しています。継続は力なりです。

7月28日(水)中学生体験入学説明会を開催しました。説明会は「全体会(太鼓部の演武、学校長挨拶、生徒会長挨拶、高校の教育活動紹介、施設見学)」を行い、その後「カリキュラム作成体験・体験授業」、「個別学校説明会」の2つに分

かれて実施しました。私からは、本年度の本校のテーマ「挑戦」についてと、高校3年間の過ごし方等について話をしたところです。大変暑い中でしたが、中学生とその保護者、中学校の先生方の約100人の参加でした。夢を叶える秘訣は、どこの学校に進学しようとも、「好奇心・自信・勇気・継続」の4つだと思います。



《定時制》7月16日（金）午後6時から、体育館で校内生活体験発表会を行いました。この発表会は、生徒全員が生活体験作文を書き、発表を行う活動の中で自分自身を見つめ直し自己理解を深めること。そして、代表者の生活体験発表を聞くことで相互理解を深め、お互いに学び合う能力を身に付けることを目的に実施しています。当日は1人の生徒



が欠席で発表できませんでしたが、1年生から4年生までの6人の生徒が自らの体験や日頃考えていることなどを自分の言葉で発表してくれました。優勝者は10月10日（日）熊本県立劇場で開催される「第70回熊本県高等学校定時制通信制文化大会」で発表することになっています。

《通信制》本校スクーリング日の7月4日（日）、5日（月）の第6限・7限を使って、校内生活体験発表会を行いました。通信制は生徒数が多いこともあり、開・閉会式、発表者10人の事前集録を行い、両日生徒たちは各教室に分散して視聴する形をとりました。目的は定時制とほぼ同じですが、通信制では、発表に臨むことで何事にも前向きに挑戦する



姿勢と、自分の大切さとともに他の人の大切さを認める態度を育むことを加えています。後日、10人の発表を視聴しました。それぞれの生徒が仲間や先生たちを信じて、自分自身の辛かった経験や思いを語ってくれていました。どの発表も素晴らしいものでした。優勝者は定時制と同様に「第70回熊本県高等学校定時制通信制文化大会」で発表することになっています。

令和3年（2021年）7月30日 熊本県立湧心館高等学校長 打越 博臣